

# KISC

創業や経営革新に  
取り組むあなたを応援します。

## CONTENTS

- 02 特集 がんばってます！「地域資源を活かすウニ製品製造企業」有限会社尾塚水産
- 04 平成20年度九州ニュービジネス奨励賞 鹿児島県の企業が受賞
- 05 九州・山口「第35回経営者賞」 鹿児島県の経営者が受賞
- 06 マーケティングの現場から～チェック・ポイントと処方箋：買い場・置き場・捨て場
- 07 税務お役立ち情報：一定の税務・会計手続きなどによる優遇融資
- 08 食の安心・安全の確保について（第2回）：かごしまの農林水産物認証制度（鹿児島県食の安全推進課）
- 09 女性起業家の声：Good day！
- 10 IT活用戦略：IT活用ツール“グループウェア”
- 12 平成20年度研究開発助成事業等採択決定
- 13 産学官連携⑦ RF-MEMS
- 14 「地域力連携拠点」相談窓口のご案内
- 15 受発注情報
- 16 鹿児島県人材育成センターの利用のご案内  
「かごしま企業情報」への掲載のご案内  
メール配信サービス「KISCNEWS」のご案内

7月号

July 2008

(財) かごしま産業支援センター  
URL <http://www.kric.or.jp/>

# がんばってます！

《食品関連企業編》

## 「地域資源を活かしきるウニ製品製造企業」

＝新たな商品開発にも挑戦中＝

阿久根市の沿岸でとれるウニは、同地域の特徴のある農林水産物（地域資源）であり、平成19年に国が定めた中小企業地域資源活用促進法に基づき、鹿児島県が策定した基本構想で「地域産業資源」として特定されています。

阿久根市の有限会社尾塚水産は女性経営者のもとで、この地域資源と密着したウニ製品の製造とウニを原料とする新たな製品開発に取り組んでいます。

また、同社は平成16年度には鹿児島県漁業振興大会第38回水産物品評会で農林水産大臣賞を受賞したほか、数々の表彰を受けています。

今回は有限会社尾塚水産を訪問し、社長の尾塚エイ子氏に話を伺いました。

### 有限会社 尾塚水産



＜代表取締役 尾塚 エイ子 氏＞

代表取締役	尾塚 エイ子
所在地	鹿児島県阿久根市西目6675-1
創業	昭和27（1952）年3月
資本金	300万円
従業員数	6名
業務内容	ウニの採取及び加工販売 海産物、魚介類の加工販売
T E L	: 0996-72-0742 / F A X : 0996-73-0814
U R L	: <a href="http://www.ozuka.co.jp/">http://www.ozuka.co.jp/</a>

#### ◎いろいろなウニ製品

当社の製品は「生うに海水漬け」、「粒うに」、「一汐うに」、「うにみそ」、「あわびうに」、「生板うに」、「阿久根の五宝海」（五種類のうに製品詰め合わせ）、「からすみペースト」です。尾塚水産は阿久根市の佐潟港の近くにあり、佐潟港には沿岸で採取されたウニが水揚げされます。同社はこのウニを買い取り自社でウニ製品に加工しています。

製品はデパートや鹿児島空港売店、道の駅阿久根で販売されているほか、インターネットでも販売しています。



＜商品の【粒うに】＞

#### ◎ウニとの関わりは

阿久根市の沿岸では古くからウニが採取されてきました。

有限会社尾塚水産は1952年に尾塚権右エ門氏によりウニを通年加工販売する会社として設立され、子息の松男氏に引き継がれました。エイ子氏は松男氏と同じ阿久根市から嫁いできましたが、1991年に松男氏が他界されたため、これまでウニを買い取っていた漁師達の「地元で漁を続けたい」との意向を受け、3代目の社長として事業を引き継ぐことを決意し、今日に至っています。



＜平成16年度農林水産大臣賞受賞＞

## ◎ウニの加工と出荷は

専門の漁師により採取されたウニは、鮮度の高いうちに二つ割りにされ生殖巣が取り出されます。この生殖巣が食用として加工されます。

尾塚水産は現在20数名の漁師からウニの生殖巣を買い取り、これを自社工場で殺菌処理した海水で殺菌処理後、味付けして瓶詰めにします。この工程は清潔な白衣と薄手のビニール手袋を付けた女性の手により、全て手作業で行われます。

瓶詰めされた製品は磯魚の代表であるカサゴがデザインされた箱に入れられ、同じデザインの包装紙で包装の上出荷されます。箱・包装紙のデザインは磯の香りが漂う新鮮な海鮮食品をイメージさせます。

## ◎研究開発はウニの完全利用

ウニの表面は固くて鋭い棘に覆われています。

漁師はこの棘に注意しながら生殖巣を取り出し、殻は廃棄します。尾塚氏は長らくこの殻の有効活用を考えていましたが、思いあって、このウニ殻からカルシウムを取り出し食品などの添加物として利用する研究と生殖巣の完全利用の研究に取り組むことにしました。

研究開発は平成18年度に(財)かごしま産業支援センターの研究開発助成を受けてスタートしました。

研究の結果、生殖巣は「うにみそ」として商品化に成功し、ウニ殻からカルシウムを取り出すことにも成功しました。現在、カルシウムの利用に関する研究を継続中です。



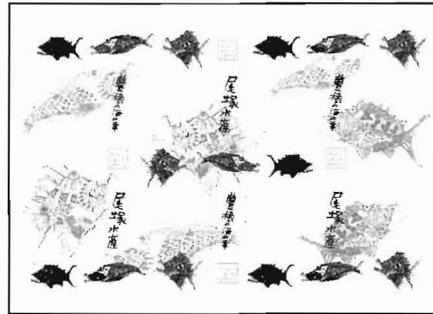
＜これまで廃棄されていたウニ殻＞



＜取り出されたウニ殻カルシウム＞



＜作業の様子＞



＜包装紙のデザイン＞

## ◎(財)かごしま産業支援センターとの関わりは

平成18年度に「ウニ廃棄物(ウニ殻、内臓、不良卵巣等)の有効利用」のテーマで、研究開発助成を受けました。

また、同年度には新製品等販路開拓助成を受け、商品化に成功した「うにみそ」やウニ殻カルシウムの試作品を、平成18年11月に東京ビッグサイトで開催された「第20回東京ビジネス・サミット2006」に出品し、好評を得ました。

## ◎今後の抱負は

顧客は確保されており、需要も年間通じて途絶えることはありません。それに原料のウニも年間を通じて確保できます。

気になるのはウニを採取する漁師の確保です。

今後ウニ殻から採れるカルシウムの商品化を早く成功させ、漁師のウニ殻処理に貢献したい。

また、阿久根港の近くに工場用地を確保して、工場および研究施設の移転拡充を計りたい。

今年は八代工業高等専門学校を卒業した若い社員を採用したので、研究開発にもっと力を入れていきたい。

## ◎あとがき

地域資源を活かせる小さな食品加工企業が、新たな飛躍を目指して研究開発にも取り組んでいます。

今また、ウニ殻を利用する新しいアイデアを思案中です。

# おめでとうございます

＝鹿児島企業が受賞しました！＝

## 平成20年度九州ニュービジネス奨励賞



＜二月会で発表をする川添社長＞

事業名 マイピク  
キャッチフレーズ  
イラストのエンターテインメントサービス  
株式会社 ワンネット 代表取締役 川添 明人

株式会社ワンネットの「マイピク」が平成20年度九州ニュービジネス奨励賞を受賞しました。

平成20年6月10日 社団法人九州ニュービジネス協議会総会において表彰  
平成20年6月16日 ベンチャープラザ二月会で、受賞したビジネスプランを発表

「マイピク」とは、写真を基に要望を聞いて、契約している約400名のイラストレーターにイラストを制作してもらうサービスです。

制作されたイラストは、ブログ等のプロフィール画像、携帯電話の待受画像や名刺など、いろいろなものにご利用できます。



《マイピクのサンプル》

### ＜受賞企業の声＞

この度は弊社提供サービス「マイピク」で「九州ニュービジネス奨励賞」をいただくことが出来ました。ありがとうございます。

振り返れば1年前にかごしま産業支援センターを尋ね、「二水会」に登壇したのが今回の受賞のきっかけでした。いろんな方にご指導をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

「マイピク」は、まだまだビジネスモデルとして磨きをかけていかないといけません。鹿児島から世界に通用するコンテンツを提供する、そして弊社の経営理念である「みんなで、ワクワク。」を実現するために引き続き努力していきたいと思えます。

皆様のご指導を今後もよろしくお願いいたします。そして「マイピク」をたま～に楽しんでいただければ、幸せです。



《川添社長とスタッフの皆さんのマイピク》

〒892-0821 鹿児島市名山町9-15  
ソフトプラザかごしま501  
TEL : 099-219-3818  
URL : <http://mypic.jp>

### 九州ニュービジネス奨励賞とは・・・

社団法人九州ニュービジネス協議会が、九州地域におけるニュービジネスの創出・育成を図ることを目的に、革新的な起業家精神を持って新しい事業に挑戦しているニュービジネス企業または経営者を選定し、表彰している「九州ニュービジネス大賞の一つです。

## ＝鹿児島県の経営者が受賞しました！＝

### 九州・山口「第35回経営者賞」

受賞者 宮原 隆和  
株式会社 エルム 代表取締役

従業員数 36名  
創業/創立 昭和52年創業  
昭和55年設立

主要製品 光ディスク修復装置  
牛肉・豚肉トレーサビリティ  
半導体デバイステスト  
NOAA自動追尾受信解析装置  
半自動形状選別機



「第35回経営者賞」受賞の皆さん  
前列右から2人目が宮原社長

宮原隆和氏（株式会社エルム 代表取締役）は平成20年4月24日、財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団から九州・山口「第35回経営者賞」を受賞しました。

財団法人九州・山口地域経済貢献者顕彰財団は、旧福岡相互銀行（現西日本シティ銀行）の創立者故四島一二三氏（昭和51年11月没）の寄金を基に昭和47年に設立され、地域発展に特に優れた実績を上げている中小企業・中堅企業の経営者を毎年数名選び表彰しています。今回まで35年間に135名の経営者が表彰されています。

今回は、宮原氏の外3名計4名の方が受賞されましたが、鹿児島県からは7人目の受賞です。

株式会社エルムは、同社の特許製品「光ディスク自動修復装置」を世界28カ国に輸出しており、ほぼ100%のシェアです。この製品は世界に対比できる技術のない最先端の製品で、その技術の高さも評価されたのではないのでしょうか。鹿児島県の中小企業が開発した製品が、世界でシェア100%を確保することも初めてのことと思われま

#### <受賞者の声>

九州・山口経営者賞を頂戴し、まずは御支援・御祝意をいただきました皆様や、社員・取引先の方々に厚く御礼を申し上げます。

この1年間を振り返りますと、昨年8月3日に「ものづくり日本大賞」の優秀賞を頂き、本年4月8日に「農商工連携88選」に選定され、4月24日に「経営者賞」、更に4月29日に「黄綬褒章」を頂戴するなど、正に私の人生最上の年でございました。

特に、経営者賞は過去35年間の歴史の中で本県からは僅か7人目の受賞であり、正に身に余る光栄と感激しております。

ただ、最上の年という言葉にはピークの意味もございますので、決してピークにならないよう、また、皆様のご期待にお応えできるよう、尚一層身を引き締めて精進いたしますので、何卒従前と変わらぬ御支援・御指導を賜りますようお願い申し上げます。



<宮原社長>

〒892-0821 南さつま市加世田武田15248  
TEL：0993-53-6930  
URL：<http://www.elm.jp/index.htm>

## マーケティングの現場から ～チェック・ポイントと処方箋～

STUDIO K. 代表 中島 秋津子

【Email】 info@studiok.biz

【Blog】 http://www.studiok.biz/

## 買い場・置き場・捨て場

### ◆基本の“使い場”は5W2Hで。

新商品の企画時「顧客が商品を使う“使い場”」については一番最初に検討していると思います。

ポイントは5W2Hです。

- ・どんな人が(who)
- ・どんな人と(whom)
- ・どんなタイミングのときに(when)
- ・どんな場所で(where)
- ・どんな理由のために(why)
- ・どうやって、どんなやり方で(how)
- ・どのくらいのランニング費用で(how much)

この“使い場”に加えて、顧客にとって重要なのに忘れられやすいのが「買い場・置き場・捨て場」です。

### ◆“買い場”に置いて確認する。

食品・飲料など消費財メーカーのオフィスには“売り場”、消費者から見ると“買い場”となる小売店を模したラックが用意してあります。新パッケージを棚に並べ「お客様の目線」で確認するためです。

商品の送り手としての確認はもちろん、買い物カゴを持ち、時間に追われながら買い物をしているお客様の立場で、商品探しのキーワードやキーマークが目に入りやすいかなど、買い手の気持ちで確認します。図面で確認する方法もありますが、現実に近い状態で見ると気づきが増えます。簡易版として他社商品と一緒に長机の上に並べる方法を使うこともあります。



店頭以外の“買い場”である通販カタログや新聞の広告なども同様です。印刷会社等から写真、文章をレイアウトした初稿や色稿が出てきたら「貼りこみテスト」を行います。初稿や色稿は原寸よりも大きな用紙に印刷されるので、周囲の白い部分を切り落として原寸大にし、“買い場”となるカタログ・新聞・雑誌に貼り込んでみます。表紙や裏表紙からパラパラとめくったときの見え方が本当の誌面の実力。周囲の白い縁取りは額縁の役割をして5割増しに見えるものです。

### ◆“置き場”のスペースとデザイン

家庭・オフィス・工場など、どんな場所でその商品を使っても、使った後はしまっておくことになります。その“置き場”を想像してみてください。

今の世の中、家庭でも会社でもスペース＝コスト。冷蔵庫内、リビング、デスク上、倉庫のスペースを無駄に使うことは、顧客に新たなストレスを生み出します。このストレスは、商品の使用後に始めて気づくことも多いため、リピート利用の阻害要因になってしまうこともあります。

また「私の“暮らし空間”をすてきに演出したい」というニーズも広がっています。そういうニーズを持つ人々は「置き場」に合うデザインを求めています。顧客の“置き場”を想像したりリサーチする努力も必要となってきています。

### ◆商品の新しい場“捨て場”。

最近「エコ意識」から新しい場が生まれました。それが“捨て場”です。消費者が過剰な包装の商品を避けたり、リサイクル可能な素材を選ぶなど、できるだけ地球環境に負荷をかけない商品・パッケージのものを選ぶようになり注目されています。

以前、私が冷凍状態でお取り寄せした食品が、発泡スチロールの立派な箱に入っていました。「この箱どうしよう、使い道は無いし。次に買うと、またこの箱が増えてしまう！」と、しばし考え込んだものです。

#### 【今月のチェック・ポイント】

商品開発時、“使い場”以外の  
検討をしていますか？



#### 【マーケティングの処方箋】

- ①顧客から見た「買い場・使い場・置き場・捨て場」を商品企画時点で漏れなく検討してください。
- ②観点リストを作ると組織のマーケティング力の向上につながります。

#### ☆筆者紹介☆

中島 秋津子  
(Atsuko NAKASHIMA)

分析レポート、事業プランニング、社員研修・講義など、マーケティングの観点から事業サポート・サービスを提供するSTUDIO K.(スタジオK)代表。



# 税務お役立ち情報

税理士・中小企業診断士

岩元 耕 児

TEL : 099-260-0100

FAX : 099-260-0113

E-mail : tia@tkcnf.or.jp

## 一定の税務・会計手続きなどによる 優遇融資

**Q** 当社は海産物卸売業を営む法人です。  
最近、鹿児島県内の金融機関において、税務署への一定の税務申告手続きや決算書作成までの会計に対する一定の取り組みなどにより、非常に優遇された融資制度ができたと聞きました。  
その概要を教えてください。

### A

#### I パートナーローンについて

本年4月21日から鹿児島県下一斉にスタートした「法人会・税理士会パートナーローン」のことです。

本ローンは鹿児島県法人会連合会と南九州税理士会鹿児島県連合会が提携して地場の8金融機関全ての協力を得て創設されたものです。

この融資制度の趣旨は県下の中小企業の資金調達の円滑化を図り、さらなる事業発展を支援しようとするものです。

通常より優遇された融資制度に加え、一定の税務・会計手続きなどの利用により、金融機関から財務諸表の信頼性が高いとの認識を受けて有利な利率で融資を受けられるものです。

#### II 制度の概要

##### (1) 融資対象者

(法人) 県下の法人会会員であり、かつ南九州税理士会鹿児島県連合会所属税理士の関与先企業であること

(個人) 南九州税理士会鹿児島県連合会所属税理士の関与事業所であり、かつ貸借対照表を作成していること

##### (2) 取扱い金融機関

①鹿児島銀行 ②南日本銀行 ③鹿児島相互信用金庫 ④鹿児島信用金庫 ⑤奄美大島信用金庫 ⑥鹿児島興業信用組合 ⑦鹿児島県信用組合 ⑧奄美信用組合

以上のとおり県内地場金融機関がすべて参加していますので、県下の事業者が非常に利用しやすい制度になっています。

##### (3) 申し込みのための条件

- 1 税金の滞納がないこと
- 2 各金融機関が個別に定める条件に合致すること

##### (4) 融資金額

各金融機関により、1000万円以内から500万

円以内の範囲で定められています。

##### (5) 融資期間

各金融機関により、一律5年以内もしくは運転資金5年以内、設備資金7年以内などと定められています。

##### (6) 基本的な3つの特典

- 1 無担保融資が原則です
- 2 第三者保証人が不要です
- 3 取扱い手数料は不要です

##### (7) 金利優遇のための要件

###### 1 電子申告の実践

(対象) 法人税もしくは所得税の確定申告を電子申告により行った事業者

(金利優遇) 基準金利より0.1%~0.2%優遇

###### 2 書面添付の実施

(対象) 税理士が事業者の申告内容の適正性を保証する「税理士法第33条の2の書面」を税務署に提出する確定申告書に添付している事業者

(金利優遇) 基準金利より0.125%~0.5%優遇

###### 3 「中小企業の会計に関する指針の適用に関するチェックリスト」の提出

(対象) 中小企業者が拠るべき会計ルールを定めた「中小企業の会計に関する指針」を適用して決算書を作成したことを証するチェックリストを提出できる事業者

(金利優遇) 基準金利より0.125%~0.5%優遇

###### 4 会計参与制度の導入

(対象) 法人企業の取締役と共同して正しい決算書を作成することを役割とする会計参与(税理士・公認会計士のみが就任できる会社の役員)が就任している法人

(金利優遇) 基準金利より0.5%優遇

###### 5 金利優遇の幅について

① 上記1~4の税務・会計手続きなどの実践による金利優遇幅は各金融機関により異なります。

② また、上記1~4の組み合わせによる金利優遇の最大幅も各金融機関により異なり最大0.7%~0.8%となっています。

#### III 申し込み方法などのお問い合わせ

申し込み方法などは、お近くの県内金融機関の本支店もしくは最寄りの税理士事務所または法人会事務局などにお気軽にお問い合わせください。

## 食の安心・安全の確保について (第2回)

鹿児島県食の安全推進課

TEL 099-286-2885

このコーナーでは、食の安心・安全を確保するための鹿児島県の取組を紹介いたします。

今回は、「かごしまの農林水産物認証制度」について紹介します。

### かごしまの農林水産物認証制度

前回、「鹿児島県食の安心・安全基本方針」について紹介しましたが、この方針の一環として「県内で生産される農林水産物の安全確保と本県産農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図る」ため、平成16年度に「かごしまの農林水産物認証制度」を創設しました。

これは、「安心・安全を考えて県が策定した基準に沿って生産工程管理を行う取組」に対して、外部機関が審査・認証をする制度であり、最近、農林水産省が全国の野菜や果樹などの産地に普及を進めているGAP手法を全国に先駆けて取り入れたものです。

GAP手法とは、Good (よい) Agricultural (農業の) Practice (やり方) の略で、農林水産省は「農業生産工程管理手法」と説明しています。

農薬や肥料の適正な使用をはじめとして、ほ場の準備段階から出荷、管理体制に至るまでの工程の全般にわたる安心と安全を確保するための基準を設定しており、生産者はこれに従い農作業を行うとともに、記録し、生産者自ら点検と評価・改善をしていきます。こうした取組を外部機関が客観的に審査して認証をする仕組みになっています。なお、毎年申請を行い、審査認証を受けることとなっています。

平成16年度の創設時には野菜、果樹、米の基準を策定し、その後、原木栽培きのこ、たけのこ、卵(鶏卵)の基準を整備してきました。

今年(2008年)は、茶(緑茶)の認証基準を新設し、さらに野菜・果樹・米において、化学合成された肥料や農薬の使用を低減する取組を併せて認証する基準を追加しています。

年々、取組が増えており、2008年5月末においては40品目で、65団体・個人が81件の認証を取得しています。戸数でいうと3,100戸余りの方が「安心・安全」にこだわって生産に取り組んでいます。

制度創設後4年経過し、鹿児島市内の大手小売店では、何かしら「認証マーク」を表示した野菜等が見られるようになってきました。

県では、安心・安全を考えて生産をする方々のまじめな取組を消費者のみなさまに伝える試みとして、鹿児島市内のデパートで、「かごしまの太鼓判フェア」と銘打って販促活動を実施(年4回)するなど各種のPRに努めています。



かごしま県認証

No.123456  
http://www.pref.kagoshima.jp/

【認証マーク】



【かごしまの太鼓判フェア】

今後とも、この認証制度にできるだけ多くの生産者の方々に取り組んでいただき、県産農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図ることとしています。

食品関係の事業者の方々におかれましても認証を取得した野菜などを御活用いただくとともに、製造工程や流通過程においても安全に御配慮いただき、消費者の求める安全な食の供給に努めていただきますようお願いいたします。

## 女性起業家の声

鹿児島的女性起業家の方々に、起業家としての思いや抱負などを女性の視点でお話いただくコーナーです。

今日もいい日である

朝、目覚めたときに発する言葉。

「Good day！」

そう言うと、実際に今日一日がよき日に思えるから不思議です。

どんなに大変な仕事や、辛くなるような出来事が待ち構えていようと、その言葉を口にすると、苦労も約束されていたプログラムのひとつであり、乗り越える勇気を持つことができるからです。

それは自己暗示かもしれません。

でも、私が起業を目指しながら、巡り合った言葉こそ「Good day」なのです。

### 転機

10年前、楽しいことをしたくて地域の情報誌を作ったものの、経営を知らず、人を使うこともわからず、行き詰まりを感じたときに、「女性起業家セミナー」の案内を頂きました。

まだ自分がどんなものか全く見えない30代。

夫の世話と三人の息子の育児で、外の世界など見る余裕もなかったはずなのに、新しい世界がそこには待っているようでした。

初めて感じる、未知の世界へ心が躍るような、胸の中がカーッと熱くなるような思い。

まわりは全て夢に向かってチャレンジ精神が旺盛な女性ばかり。彼女たちの強烈な刺激を肌で受けながら、起業を目指す一人となっていきました。

### 「和」こそ、「学び」

セミナーの最終日、これからも共に学び合いたいと、全員一致で「さつま女性起業家塾」を発足させました。

鹿児島の女性をもっと元気づけようと「オンナ維新」というイベントを企画したり、学びたいと思う事業所や起業された方に話を聞きたくて出向いたり。

そんな我々の塾も、今年で9年目を迎えます。

起業家という「個」のパワーの集まりであり、「我」と「負けん気」の強い女性の集まりですから、幾度となく意見の食い違いもあり、そのたびに塾の方向性を変えていきました。

あわや解散かというとき、皆が、この塾が好きで一緒に学んでいきたいと、結成当時の思いに立ち戻っていました。

心がひとつになったとき、「和」が生まれ、新たな「学び」の場所となったのです。

Good day !



鹿児島市内に出かけるときに、10号線から見る桜島と錦江湾に元気をもらいます。

今日もまた、乗り越えていく

塾という大きな「和」の中に、それぞれが経営していく小さな「和」があります。

私はまだ会社は興していませんが、「スピリチュアルカウンセラー」という能力に目覚めたことがきっかけで、私のもとに、女性として、母として、人間として成長していきたいという生徒さんが集まるようになりました。

それぞれが抱えるストレスや精神的苦痛を、少し考え方を変えるだけで、気持ちが楽になり、今の環境から逃げずに取り組んでいくことができます。時間をかけて、じっくりと付き合いながら。

生徒さんの1人から、「だいぶ気持ちが明るくなりました。前向きに頑張る気持ちになってきました。」というお便りをいただいたとき、この仕事をやっていてよかったと感じます。

小さな「和」に私も支えられ、今日もまた難題を乗り越えていきます。

「Good day！」と声をかけながら。

### ☆筆者紹介☆

徳重 ルリ子 (Rurico TOKUSHIGE)

スピリチュアルカウンセラー

さつま女性起業家塾事務局  
NPO法人

霧島サンバイオ会員

霧島市横川町生まれ  
現在始良町在住



# IT活用戦略

株式会社フォーエバー

代表取締役 久永 忠範

〒892-0821 鹿児島市名山町9-15

ソフトプラザかごしま504

TEL : 099-239-5269

URL : <http://www.forever.co.jp>

E-mail : [forever@forever.co.jp](mailto:forever@forever.co.jp)

## IT活用ツール “グループウェア”

こんにちは、フォーエバーの久永です。

前回まで経営戦略策定からIT戦略策定とちょっとかたいお話をしてまいりましたが、中小企業においてIT経営とはどのように行えばいいのでしょうか？

大企業においては、経営戦略室や情報システム部門など自社のIT活用を促進する部署があり、IT活用は戦略的に行われるわけです。しかし中小企業においては、経営者自身が経営戦略からIT活用までの流れを担当する企業が多く、IT全般の活用の組み立てを行うことは、とても大変なことです。また、業務において社員ひとり一人の果たす役割が多いと思います。たとえば営業社員が事務の仕事をしたり、販売社員が企画の仕事をしたりといくつもの役をこなしていかなければなりません。ということは特定の人だけに重要な情報やノウハウが蓄積されたり、他の社員との情報が共有されていないことが多くなってきます。

今回は、コストをあまりかけずに効率的に情報の共有ができるIT活用ツールであるグループウェアについてご紹介いたします。

### \* グループウェアとは？

グループウェアとは、企業においてコンピュータネットワークを活用した情報共有を行うためのシステムです。ネットワークに接続されたコンピュータ(のユーザー)同士で情報の交換や共有ができるようになっており、業務の効率化を目指したものです。

最近では、ウェブブラウザ(インターネットエクスプローラー等)を使用したシステムが主流になっています。

ウェブブラウザを利用しますので、クライアント(利用者)側が専用ソフトを必要としないため、ホストのみ設置すれば良く、初期投資が低く抑えられ、またクライアントのOS(オペレーティングシステム)を選ばないという利点があります。

### \* グループウェアの機能

グループウェアは、業務に必要な多くの機能を備えています。日常利用するワープロ・表計算ソフトと同じような操作で、簡単に入力、活用することができます。

主な機能として、スケジュール管理・ToDoリスト・伝言所在・タイムカード・設備予約・ワークフロー・電子会議室・文書管理・備品管理・アドレス帳・購買予約・仮払清算・プロジェクト管理・レポート提出・アンケートなどがあります。

**スケジュール管理**は、社員全員のスケジュールが一目で把握できるので、スケジュールの調整など簡単に行うことができます。また日毎、週毎、月毎や社内の個人、グループ、部門毎の表示もできます。たとえば、本社から各支店社員のスケジュールが把握できるので、お互いのスケジュールをチェックして社内会議の予約などを行うこともできます。

**ToDoリスト**は、これからやるべき仕事を締切の早い順や時系列順にスケジュールに表示されるので、うっかり忘れてしまう心配がありません。また、期限が近付くと事前に警告してくれる機能を備えているものもあります。

**ワークフロー**は、各種書類の申請を行うことができます。WEB上での申請ですので、外出先、出張先からでも申請でき、また承認、決済をリアルタイムに行うことができます。特に複数の承認などが必要なときなど、承認グループを作成して、協議、合議を行うこともできます。

**文書管理**は、作成した文書、画像などをデジタルデータとして共有できます。サーバー上に保存しますので、



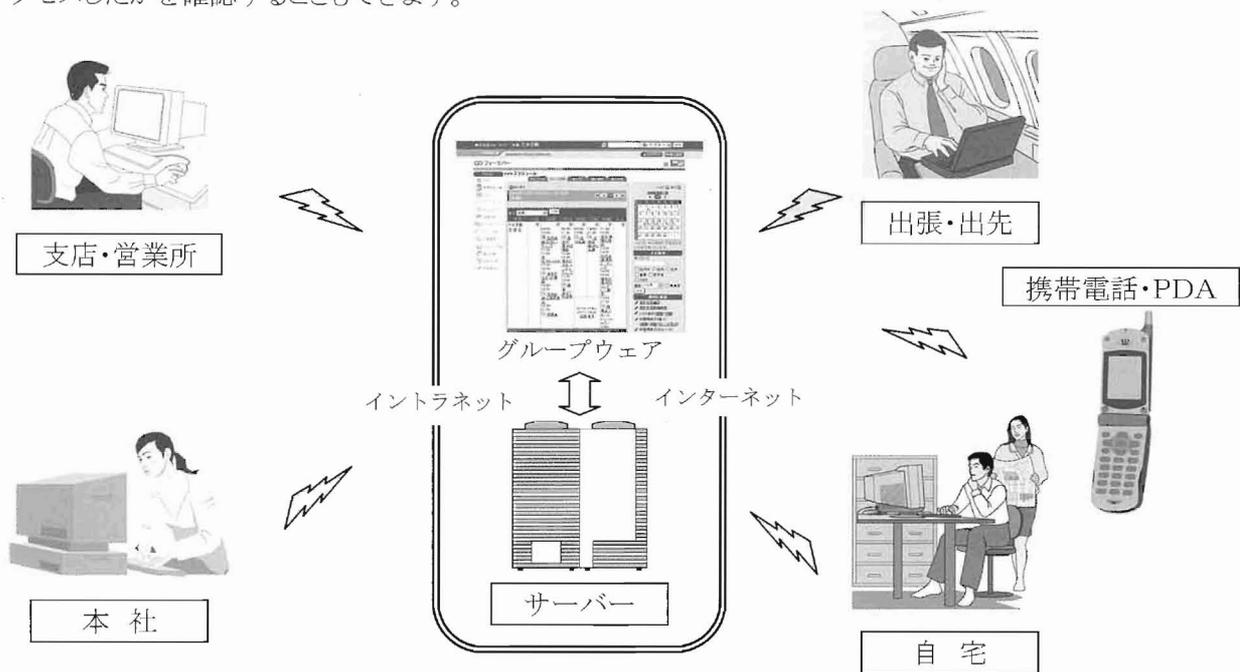
場所や時間を気にせずに欲しいデータを入手、利用することができます。また、特定の人、部門だけが閲覧できる設定もできます。

以上、他にも様々な機能を活用することでトータル的な情報共有を行うことができます。

### \* グループウェアの構築・活用

グループウェアの構築には、いろいろな方法がありますが、サーバーを社内において管理するか、ASP(アプリケーションサービスプロバイダ)などの外部へ委託するなどの主に2つのパターンに分けられます。社内にサーバーをおいて管理するには、ある程度のパソコンの知識をもった社員が必要となりますので、セキュリティ、メンテナンス等を考えるとASP型のグループウェアの利用の方が簡単に開設、利用することができます。

グループウェアをウェブブラウザで活用すると、社内外問わず、インターネットがつながっている環境であれば、いつでもどこでも閲覧、利用することができます。セキュリティ面においても、社員各自にID・パスワードを付与してアクセスを制限することもできます。アクセスログ機能をもつグループウェアもありますので、誰がいつアクセスしたかを確認することもできます。



### \* グループウェアの製品・費用

グループウェアには、企業規模によりいろいろな製品がありますが、インターネットで「グループウェア」を検索すると各メーカーの製品を見ることができます。一般的に製品の価格は、利用するユーザー数によって決まっており、例えば10人規模の企業では、4~8万円程度の価格で購入することができます。製品によっては、いろいろなオプション機能を選べますので、自社に必要な機能を追加することやある程度のカスタマイズも可能なものもあります。

またGoogleやMSNなど関連したサイトにも、グループウェアの機能をもった無料のサイトもあります。IDの登録が必要ですが、簡単にすぐに利用することができますので、このようなサイトでコストをかけずに、まずは始めてみるのもいいかもしれません。

今回は、企業内における情報共有をおこなうIT活用ツール(グループウェア)のお話をしましたが、次回は業務を統合化するIT活用ツールをご紹介します。

#### ☆筆者紹介☆

久永 忠範 (Tadanori HISANAGA)

株式会社フォーエバー 代表取締役

・ITコーディネータ・キャリアコンサルタント・個人情報保護士

90年 個別指導学習塾 永久(とわ)塾開業

96年 有限会社フォーエバーラーニングシステム設立 システム開発を開始

97年 情報サービス部門を設けてパソコン教室を開始

00年 WEBコンテンツ事業を開始

06年 株式会社フォーエバーへ組織変更 ITコンサルティングを開始



## 平成20年度 研究開発助成事業等採択決定

財団法人かごしま産業支援センターでは、県内中小企業のものづくり技術の高度化、新製品開発能力の向上などにつながる研究開発に対し、研究経費の一部を助成する研究開発助成事業等を実施しています。

また、本年度から新たに、鹿児島県からの委託による重点業種研究開発支援事業(自動車、電子、食品の3業種)も実施します。

本年度は、11件の応募があり第三者で構成する研究開発審査委員会の審査を経て、平成20年6月17日に、8件の研究開発を採択しました。

### 1 研究開発助成事業

企業名	研究テーマ	助成金
濱田酒造(株)(いちき串木野市)	焼酎粕粉末とサツマイモ葉茎を利用した携帯機能性食品の開発	300万円
(株)ユニオン精密 鹿児島工場 (薩摩川内市)	圧造金型の応力集中表示キットを用いた次世代型長寿命金型の開発	300万円
(株)省力化技研(日置市)	ゼロエミッションを目指した竹バイオプラスチックによる商品開発	200万円
マダム・ポー(株)(南さつま市)	桑の枝葉分離作業機械の開発	100万円

### 2 産学共同研究推進事業

企業名	研究テーマ	助成金
日本澱粉工業(株)(鹿児島市) 鹿児島大学工学部(鹿児島市)	薬理活性を指向した糖の誘導	300万円

### 3 重点業種研究開発支援事業

企業名	研究テーマ	助成金
(株)南光(鹿児島市)	自動車関連産業の治具設計並びに製造システムの開発	300万円
(株)ユピテル鹿児島(霧島市)	高性能・低コスト・小型車載マイクロ波センサの開発	300万円
(株)A・R・P 鹿児島事業所(鹿児島市)	焼酎原料用サツマイモの簡易デンプン価測定装置の開発	200万円

◆お問い合わせ先 財団法人かごしま産業支援センター 産学官連携課  
〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学産学官連携推進機構1F  
Tel 099-214-4770 Fax 099-214-4771  
E-mail sangaku@po.kric.or.jp

鹿児島TLOでは鹿児島大学・鹿児島高専・鹿屋体育大学の研究者のシーズを企業の皆さまに活用していただくために、研究者に代わって権利化したり、大学の機関帰属となったシーズを権利移転する活動を行ったりしております。今回は鹿児島大学が出願し、鹿児島TLOが移転活動を行っている下記発明を御紹介いたします。

【発明の名称】 RF-MEMS 【発明者】 鹿児島大学工学部教員  
 【出願番号】 特願2006-234435 【出願日】 平成18年8月30日

【発明の概要】 これまでのMEMSスイッチでは、低電圧で駆動させようとする、電極面積を拡大したり、バネ定数を低減する必要があり、大型化しなければならず、駆動電圧とスイッチの寸法との間には、トレードオフの関係が存在していました。  
 本発明では、MEMSの構造として、上部と下部に固定電極を設け、中部に可動電極を挟み込んだサンドイッチ構造にすることにより、小型化、駆動電圧の低減化、及びスイッチング動作の高速化を実現可能なMEMSスイッチを提供いたします。

【図による解説】

**本発明では**

上部と下部に固定電極を設け、中部に可動電極を挟み込んだサンドイッチ構造を提案。

上部電極  
中部電極  
下部電極  
伝送線  
バネ  
可動電極  
可動電極

段数を増加することで、**小型化と低電圧化を同時に達成可能!!!**

**シーズ活用分野**

- ☆ 携帯電話等の無線機器
- ☆ 計測・電子機器

などの分野で活用が可能です。

**新構造RF-MEMSスイッチの優位性**  
寸法1×1 [mm<sup>2</sup>]

項目	従来スイッチ	新構造RF-MEMSスイッチ
容量比	10	210 (210%)
駆動電圧	5 [V]	1.2 [V]
応答時間	50 [ns]	20 [ns]
変位量	10	20
変位量	10	20

容量比・変位量をそのままに  
**小型化・低電力・高速化を達成!!!**

小型・低電圧駆動および高速スイッチング動作確認

**MEMSとは**

Micro Electro Mechanical Systemsの略で、機械要素部品、センサー、アクチュエータ、電子回路を一つの基板の上に集積化したデバイスの事です。RF-MEMSは、微小な高周波スイッチとして注目されており、携帯電話等の無線機器への応用が期待されています。

【対象者】 半導体製造業、無線機器製造業等、電気電子関連産業の方にお勧めです。

ご興味のある方は下記までお問合せください。

株式会社鹿児島TLO 【<http://www.ktlo.co.jp/>】

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学内

TEL 099-284-1631 FAX 099-284-1632 E-Mail info@ktlo.co.jp

担当 吹留（技術移転マネージャー）、平川（特許流通アドバイザー）

町田（技術移転スペシャリスト）、赤崎（技術移転スペシャリスト）

米満（NEDOフェロー）

## 「地域力連携拠点」相談窓口のご案内

当センターは、他の中小企業支援機関等とのつながりを更に強化し、経営力向上や新事業展開、創業支援など中小企業が直面する課題に対して、ワンストップできめ細かな支援を行う「地域力連携拠点」として、経済産業省から選定され事業を開始しました。

センター内には、浜田応援コーディネーターほか2名による「地域力連携拠点班」を設置し、皆様からの御相談に対応します。お気軽に御相談ください。

### 特徴

- 1 地域における支援機関等の力を総動員したきめの細かい支援を行います。
- 2 「悩む中小企業」の課題をワンストップで支援します。
- 3 ITを積極的に活用することにより、経営診断を正確・迅速に行うことができます。
- 4 支援のプロフェッショナルのコーディネーターが、支援を求める中小企業と最適な専門家をピンポイントでつなげます。
- 5 様々な支援策等を最大限活用して、成長に至るまでの一貫した支援を行います。

具体的には、パートナー機関と密接に連携しながら①相談、②専門家派遣、③情報提供、④調査・研究、⑤マッチング等を行い、小規模企業等の前向きな取組みを支援します。

### ◆地域力連携拠点班

私達が御相談に応じます。



浜田邦三応援コーディネーター

かごしま遊楽館長、県工業倶楽部事務局長を経て、去る5月30日から当職

スピードと明るさで取り組みます。御活用ください。



小湊国昭窓口相談員

以前、当センター勤務経験あり  
座右の銘“誠心、誠意”  
気軽にご来訪ください。



原和代事務補助員

お気軽に御相談ください。

◆問い合わせ先◆ TEL 099-219-1529  
e-mail:chiikiriyoku@po.kric.or.jp

# 受発注情報

当センターでは、仕事を発注・受注したい企業の希望条件（設備・技術力等）に見合った取引の紹介あっせんを行っております。今月は、下記の企業から受注の申し込みがきておりますので、あっせんのご希望がありましたらご連絡ください。

また、センターのホームページでもご覧頂けます。（URL：<http://www.kric.or.jp>）

## ◆受注情報

No.	所在地	資本金 (万円)	従業員数 (人)	受注希望品目 (加工内容)	主要機械設備
1	鹿児島市	856	20	工業部品、装飾品の金・銀・ ロジウム・ニッケルめっき	軟質金めっきライン、硬質金めっき設備 銀めっきライン、ロジウムめっき設備 ニッケルめっきライン 他

## ◆お問い合わせ先 (財)かごしま産業支援センター ビジネス支援課

TEL:099-219-1274 FAX:099-219-1279

E-MAIL:business@po.kric.or.jp

## 下請代金支払遅延等防止法（下請法）クイズ

### 【問題】

次の行為は、それぞれ下請法上、違法（購入・利用強制）となるでしょうか。

- ①自動車修理を下請事業者へ委託している自動車ディーラーが、修理の外注担当者を通じて下請事業者に対し、自動車の購入先を紹介するよう要請すること。
- ②放送局が放送番組の作成を委託する際に、特定のタレントを起用するよう下請事業者へ指示すること。
- ③下請事業者が自ら調達するよりも有利な条件を示して物品の購入を要請すること。

### 【解説】

下請法第4条第1項第6号では、親事業者の遵守事項として、「下請事業者の給付の内容を均質にし又はその改善を図るため必要がある場合その他正当な理由がある場合を除き、自己の指定する物を強制して購入させ、又は役務を強制して利用させること。」をしてはならない、と規定しています。

#### ①なる（可能性がある）

自動車の購入そのものではなく、購入先の紹介を要請しているものですが、下請事業者の中には購入先を紹介することができず、自ら自動車を購入せざるを得ない者も有り得ることから、購入強制として問題となるおそれがあります。

#### ②ならない

放送局が放送番組の作成を委託するに当たり、放送番組の質を確保するために、有償で放送局の指名するタレントを起用させることは、購入・利用強制には該当しません。ただし、このことが発注時には明確にされておらず、この費用を負担しない（又は対価に反映させない）場合には、不当な給付内容の変更（又は買ったとき）として問題となるおそれがあります。

#### ③なる（可能性がある）

下請事業者が自ら調達するよりも有利な条件を示したとしても、下請事業者が必要としない物品を購入させることは、購入強制として問題となるおそれがあります。下請取引においては、親事業者が任意に購入を依頼したと思っても下請事業者にとっては、その依頼を拒否できない場合も有り得ますので、事実上、下請事業者へ購入を余儀なくさせていると認められるか否かが判断の基準となります。

○下請法の相談はこちらに ⇒ 公正取引委員会事務総局 九州事務所 下請課

TEL:092-431-6032 <http://www.jftc.go.jp/>

## 鹿児島県人材育成センターの利用のご案内

当センター出先機関の鹿児島県人材育成センターでは、企業の在職技術者など人材育成の支援を主たる目的として、各種の講座・研修を実施しているほか、企業自らが企画する会議・研修・講演などの会場として、低廉な使用料で利用していただいております。皆様の参加及びご利用をお待ちしております。

自主講座：食品加工・機械加工・QC手法・ISO関係など29講座を実施  
 施設利用：150人収容の大研修室のほか大小6室を低廉な使用料で提供  
 （詳しくは、下記までお問合せください）  
 所在地：霧島市国分中央3-44-36



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 鹿児島県人材育成センター  
 〒899-4332 霧島市国分中央3-44-36  
 TEL：0995-47-3090 FAX：0995-46-4413 E-mail：jinzaic7@po.kric.or.jp

## 「かがしま企業情報」への掲載のご案内

当センターでは、県内中小企業の情報発信の充実と検索等の利便性を図ることを目的に、当センターのホームページ上に「かがしま企業情報」を構築し、掲載企業の募集をしています。

インターネットを使用しての登録・更新が可能で、登録企業側の操作もしやすくなっています。

一社でも多くの企業が掲載していただければビジネスチャンスの拡大に繋がることが期待されます。掲載料は無料ですので、お気軽にご登録ください。



■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課  
 〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階  
 TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：info@po.kric.or.jp

## メール配信サービス「KISCNEWS」のご案内

当センターでは、イベントや研修など各種のお役立ち情報をEメールで無料配信するサービスを行っております。配信を希望される方(機関または個人)は、次の当センターホームページからお申し込みください。  
 (お申込み先URL：<http://www.kric.or.jp/publication/kiscnews/top.htm>)

■問合せ先■ (財) かがしま産業支援センター 情報支援課  
 〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 鹿児島県産業会館2階  
 TEL：099-219-1275 FAX：099-219-1279 E-mail：kiscnews@po.kric.or.jp



### ■「情報KISC」の表紙デザインについて■

表紙のデザインは、「かがしまデザインフェア2008」の「KISCデザイン部門」に応募された総数147点の中から最優秀賞を受賞されました 竹下 昇吾 さんの作品です。  
 ~作品のテーマは「人の血が流れる心臓」~

(竹下さんのはなし)

コンセプトは「人の血が流れる機械」です。  
 真ん中にある機械の心臓は機械と人の心の融合を表してみました。  
 周りにあるハートのマークはその機械にかかわった人たちの心を表していて、その人たちの心が機械を通して繋がっていることを表現してみました。  
 一つ一つの機械にいろんな人たちの思いがこめられていることを表現してみました。

## 情報KISC 7月号

発行者：財団法人かがしま産業支援センター  
 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 鹿児島県産業会館2F

TEL 099-219-1270 (代表)  
 FAX 099-219-1279  
 E-mail kisc@po.kric.or.jp  
 URL <http://www.kric.or.jp>